

令和6年度第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立みどり清朋高等学校
校長名	藤原 隆志

開催日時	令和6年6月20日(木) 14:00~15:30
開催場所	みどり清朋高等学校 大講義室
出席者(委員)	勝山会長、木下副会長、山口委員、仲津委員、高田委員、韓委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席、首席・生徒指導部長、教務企画部長、進路指導部長、保健部長、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任
協議資料	学校運営協議会 実施要項 令和5年度学校評価、令和6年度学校経営計画 令和6年度重点目標及び達成目標・具体方策

議題等

1 学校運営協議会会長・副会長選任

2 学校運営協議会 実施要項(教頭)

3 令和5年度「学校評価」及び令和6年度「学校経営計画」(校長)

昨年度第3回学校運営協議会で、全会一致で承認されている。令和5年度「学校評価」については、特に意見なし。

令和6年度「学校経営計画」の意見については、以下の「協議内容・承認事項等(意見の概要)」欄で詳細を記す。

4 令和6年度 重点目標及び達成目標・具体方策について(3学年・4分掌)

重点目標は以下のとおり。

【1学年】 1. 社会で活躍できる人になる。(年間遅刻数200以下) 2. 確かな学力
3. 個々の進路の方向性に沿った、確かな文理選択とコース選択

【2学年】 1. 社会で活躍できる人になる。(年間遅刻数200以下) 2. 確かな学力
3. 個々の進路の方向性に沿った、確かな文理選択とコース選択

【3学年】 1. 他人を認め助け合い高め合う集団づくり。

2. 学校行事に積極的に参加し、学校生活を充実させながら進路実現に向けての発展的な学習にも取り組む。

3. 個々の進路実現に向けて、高い志をもち最後まで諦めずに努力する

【教務企画部】 1. 早期連絡と提出期限の徹底と内容の正確さ

2. 専門コース設置校としての内容の充実 3. 中学校への広報活動

【生徒指導部】 1. 生徒の規範意識の向上を柱とし、規則の遵守、問題事象の未然予防・早期解決に努めることで誰もが安全に生活できる学校づくりを行い、内面・外面から自己を磨くことができる生徒指導をめざす。

2. 生涯にわたり、生徒の良き思い出として刻まれるような達成感・充実感が得られる行事づくりをめざす。

【進路指導部】 1. 自学自習の習慣を身につけさせるとともに、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える等の「確かな学力」の育成をはかり、進路実現に必要な学力を育む。

2. 生徒一人ひとりが自分の将来への生き方への関心を高め、自己の能力・適性の発見と開発に努めて、自らの意志で自己の進路を選択するとともに、自己実現に必要な力の伸長が図られるよう、積極的に指導・支援する。

3. 教員間での情報の共有と保護者への情報提供

【保健部】 1. 基本的な生活習慣の改善・定着を図る。

2. 美化活動の改善・定着を図る。

3. 学校保健活動を展開する中で、生徒の健康教育・防災教育の推進をはかる。

これらの目標に沿って、重点事項を定め、各学年・分掌の具体的な取り組みについて、説明があった。

【1学年】欠席を減らしたい。頑張ろうとする生徒を引っ張りたい。少しつらいことがあっても乗り越えていける生徒を育成したい。

【2学年】「〇〇週間」等のイベントを企画し、実施したい。外部産業のコンテンツを使った学習支援への取り組みを実施したい。修学旅行で全体レクを仕切れるような生徒を育成したい。

【3学年】他人を認め、助け合い高め合う集団づくりに取り組みたい。学校行事に積極的に参加し、個々の進路実現に向けて、高い志を持ち最後まで諦めずに努力する生徒を育成したい。

【教務企画部】科目選択する生徒のニーズに合わせたシラバスの見直し、専門コースの見直しを検討したい。中学校への情報提供は中高連絡会実施や中学校訪問によって、実施したい。

【生徒指導部】遅刻者数の減少をさらに進めたい。アンダー1200を掲げて、昨年度は878（通院等を除く）であった。部活動加入率の増加を図る取り組み。自律を促す指導に切り替えるため、本鈴1分前のメロディーチャイムの廃止を行った。このような取り組みを実施したい。

【進路指導部】進学講習（放課後・夏期講習など）を進路指導部が情報整理することにより、組織的に運営を行っていく。公務員外部セミナー、看護体験等、大学進学希望生徒以外への対応もしっかり生徒に寄り添って実施したい。

【保健部】実動防災避難訓練の継続実施により、生徒の防災意識を高める指導を行いたい。命を大切にする指導で、さまざまな生徒向け講演会を実施したい。そのための予算は校長マネジメント予算でお願いしている。

協議内容・承認事項等（意見の概要）

1 令和6年度「学校経営計画」について

今年度新たに追加された項目「生徒の安全・安心を確保する学校」に関して、施設設備面の改修を行うこと、自転車通学での安全指導に関する意見があり、特に後者については、登下校時の自転車事故が多くなっていることから事故防止の取り組みについて、以下の意見を聴収した。

- ・危険運転を指導するための生徒指導の時間確保（傘さし運転・イヤホンをして運転することの危険性、横に広がって道路をふさぐ形で運転することの危険性）
- ・ヘルメット着用指導

また、学校周辺では、街灯が少ないことに伴い、冬場の下校時の安全確保のため、地域自治会との連携、関係機関への要望書の提出など、地域で協力できるところは頑張りたいという意見も得られた。

2 令和6年度 重点目標及び達成目標・具体方策について

以下の意見を聴収した。

・欠席が増えており、特に不登校による欠席が増えているという話を聞いている。コロナの影響なのか？単位制に通う生徒が増えており、転学する生徒が多いとの情報もある。中学校時代に不登校を経験した生徒が高校に入って、克服したという話も聞いている。不登校の生徒にとって、高校が安心安全に登校できる場所となるような取り組みを頑張ってもらいたい。

・学校で「分野別説明会」などの実施をされているが、進路ガイダンスとして、実際に働いている人から体験談を聞くことによって、職業観が育成できる取り組みも考えてほしい。

・学校の特色として、「子ども保育コース」と地域の保育園との連携が進んでいることが挙げられる。高校生のときから、保育実習として職業体験活動に参加され、卒業後に就職先として、地域に戻ってきてくれている。地域貢献のお手本である。

・外部教育産業のコンテンツを導入して、教育成果が上がっている。今後も継続してほしい。

・実動防災避難訓練は、とても重要である。実際に災害発生を想定して避難誘導することで、防災意識が高まる。みどり清朋高校は2次避難所としての機能も有している。災害の際に地域住民が避難してくることも想定される。防災避難訓練について、地域との連携も考えてほしい。今年度は、スケアードストレイトが実施されると伺っている。地域自治会へ参加も呼び掛けていただくと連携の一步が踏み出せるのではないかと。

・この人数規模の学校で、遅刻者数 1000 未満を達成しているのは、とてもよく頑張っていると言える。また、交通が不便な立地条件にも関わらず、入学者選抜で常に定員を充足していることは、学校の魅力を十分に発信できているということであり、すばらしいことである。

次回の会議日程

日時	令和6年10月7日（月）11：00～12：30
会場	みどり清朋高等学校 大講義室